



News Release

2025 年 10 月 30 日
N I T E（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

ストーブとの程よい距離感が大切です

～「電気」「石油」暖房器具の事故を防ぐ 4+1 のポイント～

1. 関東甲信越地方の暖房器具の重大製品事故

（１）年別事故発生件数と被害状況

2020年から2024年の間にNITE（ナイト）が収集した製品事故情報※¹において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、暖房器具※²の製品事故は224件ありました。暖房器具の製品事故について、関東甲信越の都県別の年別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。

※2 石油ストーブ・石油ファンヒーター、電気ストーブ・電気ファンヒーター、ガスストーブ・ガスファンヒーター、オイルヒーター、電気カーペット、電気こたつ

表1. 年別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年	2020年	2		5	7	6	15	10	3		1	49
	(内数) 火災事故	(1)		(4)	(4)	(4)	(13)	(7)	(2)		(1)	(36)
	2021年			4	13	9	10	9	4	1	1	51
	(内数) 火災事故			(4)	(9)	(6)	(5)	(9)	(4)	(0)	(1)	(38)
	2022年	2		1	6	10	8	9	1		1	38
	(内数) 火災事故	(2)		(1)	(6)	(9)	(6)	(8)	(1)		(1)	(34)
	2023年	2		2	8	6	11	8	2	2		41
	(内数) 火災事故	(2)		(2)	(8)	(5)	(10)	(8)	(2)	(1)		(38)
合計	2024年	1	2	1	8	3	12	9	4	2	3	45
	(内数) 火災事故	(1)	(1)	(1)	(8)	(3)	(11)	(8)	(3)	(0)	(2)	(38)
合計		7	2	13	42	34	56	45	14	5	6	224
(内数) 火災事故		(6)	(1)	(12)	(35)	(27)	(45)	(40)	(12)	(1)	(5)	(184)



表 2. 被害状況別事故発生件数

			茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
被害状況	人的被害	死亡			4	4	5	1	4				18
		(内数)火災事故			(4)	(4)	(5)	(1)	(4)				(18)
		重傷	1		1		1	3	1		1	1	9
		(内数)火災事故	(1)		(1)		(0)	(2)	(1)		(0)	(0)	(5)
		軽傷				4	2	5	5	1		1	18
		(内数)火災事故				(4)	(2)	(5)	(5)	(1)		(1)	(18)
	物的被害	拡大被害	5		6	21	22	30	26	8	1		119
		(内数)火災事故	(5)		(6)	(20)	(18)	(26)	(26)	(8)	(1)		(110)
		製品破損	1		2	11	4	14	8	4	2	4	50
		(内数)火災事故	(0)		(1)	(5)	(2)	(9)	(4)	(2)	(0)	(4)	(27)
	被害なし			2		2		3	1	1	1		10
(内数)火災事故			(1)		(2)		(2)	(0)	(1)	(0)		(6)	
合計			7	2	13	42	34	56	45	14	5	6	224
(内数)火災事故			(6)	(1)	(12)	(35)	(27)	(45)	(40)	(12)	(1)	(5)	(184)

表 3. 原因区別別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの	1		1	6	4	10	13	1	1	1	38
	B 製品および使い方に問題があったもの								1			1
	C 経年劣化によるもの				2	1	2	2				7
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1		2	2	1	2	1	1			10
	小計	2	0	3	10	6	14	16	3	1	1	56
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの				1							1
	E 誤使用や不注意によるもの			2	4	4	9	3	1			23
	F その他製品に起因しないもの		1	3	7	8	9	7	2	3	1	41
	小計	0	1	5	12	12	18	10	3	3	1	65
その他	G 原因不明なもの	5		3	13	12	8	12	4		2	59
	H 調査中のもの		1	2	7	4	16	7	4	1	2	44
	小計	5	1	5	20	16	24	19	8	1	4	103
合計		7	2	13	42	34	56	45	14	5	6	224

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 電気ファンヒーターの事故事例（可燃物が接触して発火した事故）

2020年1月、東京都、拡大被害

(事故内容)

電気ファンヒーターを使用中、電気ファンヒーター及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

使用者が電気ファンヒーターの前に衣類等の可燃物を積み上げて置いていた



め、通電中の電気ファンヒーターに可燃物が接触した、又は放射熱により出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「乾燥等の他の目的で使用しない。燃えやすいものの近くで使用しない。外出するときは電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因になる。」旨、記載されている。

② 石油ファンヒーターの事故事例（ガソリンの給油により出火した事故）

2020年12月、埼玉県、周辺焼損

（事故内容）

石油ファンヒーターを使用中、石油ファンヒーター及び周辺を焼損する火災が発生した。

（事故原因）

石油ファンヒーターに異常は認められず、カートリッジタンク内からガソリンの成分が検出されたことから、誤ってガソリンを給油したため、ガソリンに引火し、出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリン厳禁、ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

（本件に関する問い合わせ先）

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，北村

電話：03-3481-1820